

【観光遊覧船事業の展開について】

D: 私どもは、観光遊覧船事業を3年ほど前から展開しています。県外のお客様はもちろん、県内のお客様にも知られてないところがあり、今後は県内外のお客様に乗っていただけるようにこの事業をPRしていきたいと思っています。堀川から出て、浦戸湾をガイドしながら下っていき、桂浜の沖まで出て、桂浜と龍馬像を海から見て遊覧して帰っていただくというコースなんですけど、龍馬像と桂浜を海から見ていただくという機会が他にはないので、「すごく楽しかった」と皆様に声をかけていただいております。

今、徐々に県外のツアーの利用も増えているんですが、バスを道路に停めて、船に案内していく際に、近隣の住民の方から苦情が出たりしているもので、そういったところも課題になっています。高知県の観光をもっと理解してもらって、近隣の皆様にも協力いただけるような形にしていかななくてはいけないと考えています。

今後の取り組みとしまして、まだ進行中なんですけど、帆布（帆に使う丈夫な布）を使っている商品化をしていき、土佐帆布として売り出したいと考えています。今、試行錯誤している最中なんですけど、今後はこっちも知っていただけるように頑張りたいと思っています。

知事： 観光遊覧船の利用者は、21年度が3700人ぐらい、22年度は、5800～5900人ぐらいで、今年の4月から7月は去年よりも多いそうですね。

D: 龍馬伝が終わって心配していたんですが、県外の方にどんどん来ていただいて、利用人数は上がってきています。乗られたお客様から直接お声をかけていただいて、すごく喜んでいただいています。また、県内のリピーターの方が増えているので、すごく喜んでいくところですよ。お天気がいいときは海の青と空の青と、緑が映えてとてもきれいなので、桂浜もまた違った形で、違った魅力で見られます。「桂浜に行って、龍馬像も下から眺めたいけれども、もう一度船から見たい」と言って来られる方もいらっしゃいます。

知事： 現在3台目の遊覧船を入れられて、バスで来られる団体の方にも対応されているということですが、この事業をより大きくするための課題はやっぱりPRですか。

D: まだまだ県内の方も知らない方が多いですので、県外の方はもちろんですが、県内の方にもっと私どもの観光遊覧船事業を知っていただきたいと思います。

知事： 「ポストふるさと博」のことを本当に真剣に考えないといけない。それぞれの地域で観光資源を磨き上げてやっている取り組みで、評価が高いというのは結構多いと思うんです。これをいかに根付かせて、先々まで続いていくようなものに仕立て上げられるかどうか、この半年間は非常に大きいので、我々もいろんな場面でPRに努めていきます。